



令和6年 9月号 園だより

—教育目標—
元気な子ども
明るい子ども
考える子ども
思いやりのある子ども

江戸川区立船堀幼稚園 園長 小澤明子

～暮らすために学ぶ～

久しぶりに子どもたちの元気な声が戻ってきました。夏季休業中、先生方は教材準備をしたり研修を受けたりして2学期に備えていました。私が参加した研修で那須正裕先生の話に一番インパクトを受けましたのでご紹介します。

子どもたちの生きる未来は予想できないような様々な問題が生まれてくるので、「正解」ではなく、その場面でのベストな答え「最適解」を求め続ける力が必要です。状況は変化するので「正解」だけでは解決できないからです。「最適解」にたどり着くためには、みんなで考えを出し合い、問題に立ち向かう力を身につけてほしいです。みんなと同じことができる・言われたとおりにできる力よりも、自ら進んで学ぶ力が欠かせません。子どもたちは、適切な環境と出会えば自分からかかわり進んで学ぶ力を本来持っているのです、無理して伸ばしてもその子の力にはなりません。子どもたちは自分らしく生き生きと暮らすために学んでいます。学ぶために暮らしているのではないのです。それは遊びや生活を通して学ぶ、公立幼稚園が行っている教育そのものなのです。

那須先生の言葉に深くうなずきながら、いろいろな場面を思い浮かべました。

○最初はダンゴムシに触れられなかったAさん。やっとダンゴムシを手のひらに乗せられた時は大喜び。今では「草の所に隠れてるんだよ」と友達に教えるまでになりました。

○鬼ごっこで負けるといつまでも悔しがっていたBさん。何度も繰り返す中で、相手からすばやく身をかわすようになっていました。

2学期も遊びや行事を通して子どもたちは様々なことに学んでいくことでしょう。幼稚園は子どもたちの思いに共感し見守ったり励ましたりしてまいります。子どもたちがより豊かに学べるよう、ご家庭や地域の皆様と共に育てていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



小さなビオトープの池にたくさんの虫たちがやってきました



ツマグロヒョウモン



アサザの蜜を吸うシジミチョウ



シオカラトンボ



ハチも水草の上でひと休み